

2020年度入試問題説明会 社会 解説

洗足学園中学校 社会科

◎問題構成について

本番の入試問題は、社会と理科で合わせて60分間で、それぞれ75点満点です。

問題構成は、**1**は地理分野、**2**は歴史分野、**3**は公民分野を中心に出题しており、各大問おおよそ25点ずつの配点としています。

各大問は、10問程度の小問で構成されており、全体では30問程度となります。1～2行の文章で答える記述問題は、全体で2～3問程度出题し、それぞれ4点程度の配点としています。それ以外の形式の問題は2～3点の配点です。

本日の模擬試験は、理科と合わせて40分間で、50点満点でしたので、入試本番の3分の2程度の分量での出题でしたが、構成や難易度は本番の入試問題とほぼ同じです。

◎入試本番での採点基準について

語句で答える問題のうち、漢字指定の問題は、正しい漢字での解答のみを正解としています。

記号選択問題のうち、「すべて選びなさい」という問題は、すべてが合っていた場合のみ正解としています。

文章で解答する記述問題は、部分点を設けています。こちらで設定したポイントについて書いていけば加点をしていく、という形で採点をしています。

1 (地理分野中心)

問1 **【地図】**で示された県は、福島県です。正解は**C**です。**A**は「現在も稼働している」、**B**は「北から南へ流れ」という部分がそれぞれ誤りです。また、福島県に石油化学コンビナートはありませんので、**D**も誤りです。

問2 統計資料に関する問題です。木材の輸入先を示しているものは、カナダやアメリカが上位になっている**B**です。**A**は、サウジアラビアなど西アジアの国が上位になっていることから、原油と判断します。**C**は、オーストラリア、インドネシアが上位になっていることから、石炭と判断します。**D**は、オーストラリアとブラジルが上位になっていることから、鉄鉱石と判断します。

統計資料を活用した問題をよく出题しますが、統計についての細かい知識を要求しているわけではありません。統計資料をただ暗記するのではなく、なぜそのような順位になるのか、なぜ変化したのか、といった疑問を常にもちつつ、学習を進めてください。

問3 ラムサール条約は、正式名称を「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」といい、国際的に重要な湿地及びそこに生息・生育する動植物の保全を目的として、湿地が指定・登録されます。日本では、釧路湿原、琵琶湖、尾瀬、宍道湖など52ヶ所が登録されています。只見川は、福島県と群馬県との県境にある尾瀬に源を発しています。正解は**A**です。**B**の霞ヶ浦、**D**の十和田湖はいずれもラムサール条約に登録されていません。

問4 地図中の**(イ)**は郡山盆地、**(ウ)**は猪苗代湖を指しています。正解は「安積」です。正しい漢字での解答のみ正解とします。

問5 **(1)** 雨温図の読み取り問題です。答えを導くには、気温や降水量の変化に注目して判別していくことが必要です。

まず、降水量に注目すると、**A**は非常に多くなっており、**B**は冬は多く夏は少なくなっています。

C・Dは夏は多く冬は少なくなっています。小名浜は太平洋に面しており、豪雨地帯ではありませんので、**A・B**ではないと判断できます。次に、気温の変化に注目すると、**D**は冬に平均気温が0℃になり、とても寒い地域であることがわかります。福島県南部はここまで寒くなるとはいえません。したがって、正解は**C**です。

(2) 火力発電のメリットとデメリットを文章で答える問題です。

メリットとしては、「消費地の近くに発電所を建設することができる。」「発電量の調整が容易である。」などが挙げられます。デメリットとしては、「発電の際に、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を多く排出する。」「発電の際に、大気汚染の原因となる物質を排出する。」「化石燃料を消費するため、資源の枯渇が問題となる。」などが挙げられます。どちらについても、採点基準としては、十分説明できていれば2点、少し足りない部分があれば1点、となります。

2 (歴史分野中心)

問1 正解は**B**です。厩戸王が摂政を務めたのは推古天皇であり、小野妹子は隋に派遣されました。

問2 正解は**D**です。豊臣秀吉は、バテレン追放令を出し、キリスト教宣教師の国外退去を命じました。「仏教勢力をおさえてキリスト教を保護」したのは織田信長、「ローマ教皇に使節を送った」のはキリシタン大名です。

問3 正解は「藤原純友」です。正しい漢字での解答のみ正解とします。

問4 正解は「立憲改進黨」です。正しい漢字での解答のみ正解とします。

問5 正解は**C**です。空海は高野山に金剛峰寺を開いて真言宗の総本山としました。比叡山延暦寺は最澄が開きました。

問6 正解は**A**の「青鞮」です。

問7 正解は**C**です。**A**は「25歳以上のすべての男子」、**B**は「次第に強化されていった」、**D**は「高等学校在学中は投票できない」という部分がそれぞれ誤りです。

3 (公民分野中心)

問1 資料を読み取る問題です。①は、法律案の提出数を比べてみると、「内閣」の方が高い年もあるので、誤っていると判断できます。②は、提出数と成立数の割合を考えると、どの年でも「内閣」の方が高いので、正しいと判断できます。③は、2017年の成立数は提出数の半分に満たないので、誤っていると判断できません。したがって、正解は**F**です。

このような問題は、落ち着いて資料を読めば正解を導けます。選択肢をよく読んで、資料から読み取れるかどうかを考えてください。

問2 憲法の条文の空欄補充の問題です。**X**には「良心」、**Y**には「法律」がそれぞれあてはまりません。いずれも正しい漢字での解答のみ正解とします。

問3 日本の財政に関する問題です。①には社会保障関係費、②は国債費、③は地方交付税交付金等があてはまるので、正解は**A**です。

問4 正解は**A・B**です。この問題は「すべて選ぶ」問題ですので、**A・B**の2つ答えている場合のみ正解です。**A**は「辞退率は裁判員制度導入時と比べて下がっている」、**B**は「裁判員のみで」という部分が、それぞれ誤りです。なお、**D**について、2019年6月から、裁判員裁判の対象事件の取り調べの可視化が義務付けられました。

問5 地方自治における直接請求権に関する問題です。正解は**C**です。請求できる項目、請求先、必要な署名数などは確認しておきましょう。

問6 最高裁判所長官については、憲法第6条第2項に「天皇は、内閣の指名に基いて、最高裁判所の長たる裁判官を任命する。」と規定されています。したがって、「内閣が指名し、天皇が任命する。」という内容であれば正解とします。「内閣が指名」で2点、「天皇が任命」で2点という基準で採点してみてください。

以上